

to you

5月 2018

No.410 平成30年4月25日発行



発行 / (公財)広島市文化財団 文化事業部 事業課
〒730-0812 広島市中区加古町4-17 JMSアステールプラザ内
TEL082-244-0750 FAX082-245-0246
Eメール bunka@cf.city.hiroshima.jp
ホームページ http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/
編集・印刷 / 大村印刷株式会社
表紙イラスト / 田中 聡

ひとこえ

上方落語とオペラが
一度に楽しめる!?

広島初の「おべらくご」。

クラシック音楽に造詣の深い桂米團治師匠ならではのユニークな舞台「おべらくご」。なんと今回が広島初公演です。各地で反響を巻き起こしている「おべらくご」の楽しみ方について、米團治師匠に伺いました。

■「おべらくご」の魅力

ともすれば複雑で分かりづらくなるオペラの筋書きも、落語で演ずればとても分かりやすくなります。一般的に、落語は大人から子どもに至るまで皆が一緒になって笑える芸能だと言われています。分かるからこそ笑えるのです。この落語の“強み”を活かし、笑わせながら観客をオペラの世界へ誘うという手法が、「おべらくご」の魅力だと思います。

■今回の見どころ、聴きどころ

最初は落語で進行しますが、突然オペラ歌手が登場してアリアを歌ったり、高座の上の囃家とからんだりします。この変わり目が面白いと思います。一瞬「えっ?」と驚きますが、不思議と違和感がありません。「見立て」と「想像」が基調の落語だからこそ成せる技ではないでしょうか。また、男女の下世話な戯れごとがモーツァルトの神々しい音楽により雅な高みへ昇華するという瞬間も聴きどころの一つです。

■お客さんの反響

「おべらくご」を観た方からは「長いオペラが簡潔にまとめてあって楽しめた」とか、「こんなに笑えるオペラを観たのは初めて」などありがたい反響をたくさんいただいています。中には「『フィガロの結婚』全4幕を観たくなった」という声もありました。オペラを観たことがない方でも十分楽しめる舞台です。ぜひ広島の皆さんにも落語で存分に笑い、モーツァルトの音楽に浸り、楽しい時間を過ごしていただきたいです。



桂米團治さん(かつら・よねだんじ) 落語家

1958年大阪府大阪市生まれ。関西学院大学文学部卒業。1978年8月父である桂米朝に入門(芸名:桂小米朝)。1992年大阪府民劇場奨励賞受賞。2005年兵庫県芸術奨励賞受賞。2008年10月五代目桂米團治を襲名。ミュージカルやクラシック音楽に造詣が深く、特にモーツァルトへの思いはあつい。各地でオーケストラと競演し、オペラと上方落語の合体「おべらくご」という新分野を確立。幅広い趣味を謳歌しつつ、古典落語に真摯に向き合い「王道を見失わずに歩む」のが信条。上方の華やぎを大切に、落語のさらなる繁栄を願いまい進中。

落語+オペラ 桂米團治 広島特別公演 おべらくご「フィガロの結婚」

【一部】は桂米朝一門の中心を担う桂米團治と広島出身の落語家桂鯛蔵の断で楽しく幕開け。【二部】は新ジャンルのエンターテインメント「おべらくご」。桂米團治が広島で活躍する演奏家と共にお届けする。
時 / 6月30日(土)13:30 ~

【一部】落語会 出演:桂米團治、桂鯛蔵

【二部】おべらくご「フィガロの結婚」(モーツァルト作曲)

演出・出演:桂米團治 演奏:広島アーティスト協会室内合奏団

出演:平福知夏、小林良子、増田由香

会 / JMSアステールプラザ 中ホール 料 / 4,000円(当日4,500円)

問 / 広島おべらくご実行委員会 TEL.080-6313-7644

